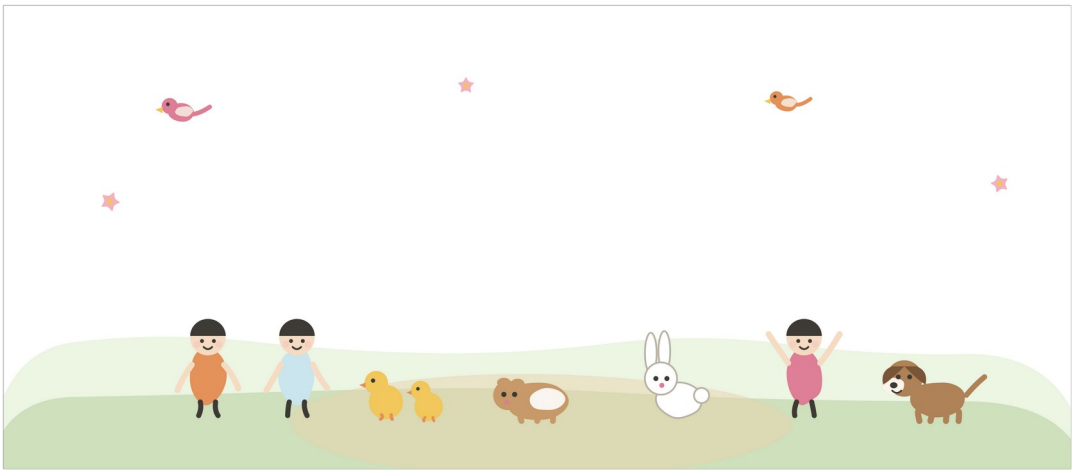
むすびの森教育　根（Ne）プログラム

幼児期版

② 0～7歳　意志と身体を育てる

Musubi no Mori Education （MME）



まず、いのちに触れる

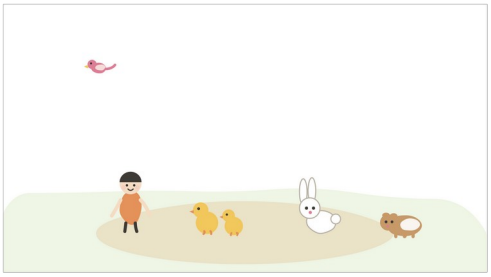
文字や計算を急がず、遊び・模倣・リズムで根を張ります

幼稚園教育要領・保育所保育指針に対応

はじめに

この時期の子ども像

手と足と心で、世界を知る時期です



模

模倣で学ぶ

説明より、大人がしている姿そのものが教材になります

動

全身で学ぶ

手を動かし、走り、登り、掘る。身体感覚が思考の土台をつくります

律

繰り返しで安心する

毎日同じ流れがあることで、意志と集中が育ちます

情

感じたことがすべて

説明されるより、驚き・喜び・悲しみの体験が心を育てます

はじめに

幼児期の教育方針

1

急がない

早期の読み書き計算より、遊びこむ時間を優先します

2

整えられた環境で自由に

選べる教具と素材を用意し、選ぶことは子どもに任せます

3

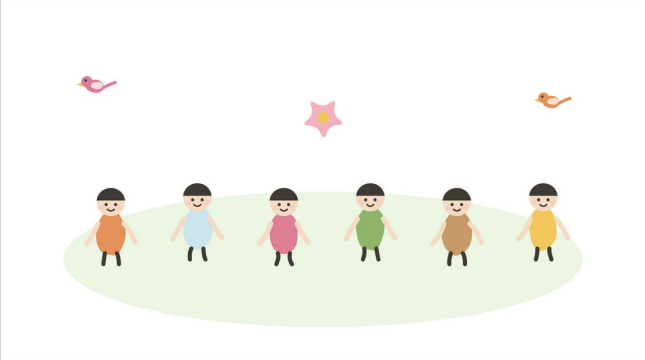
自然のなかで過ごす

1 日 2 時間以上を屋外で。雨の日も雪の日も外に出ます

4

小さないのちに触れる

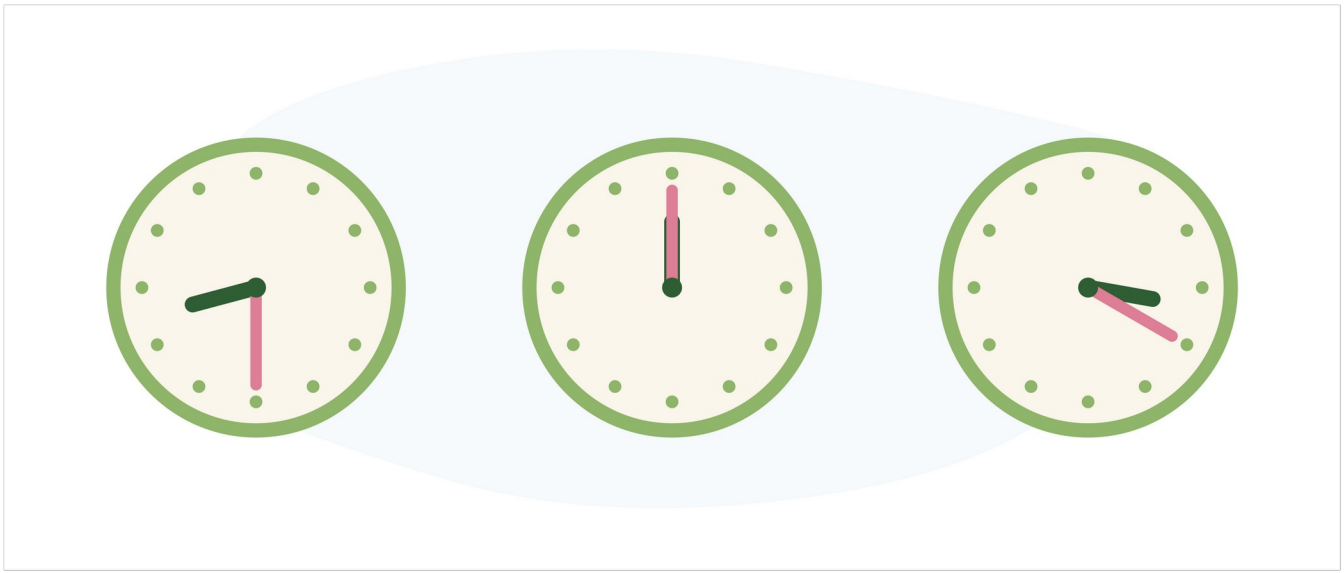
ひよこ・うさぎ・モルモット。やわらかさと温かさを手で知ります



CHAPTER 1

1日と1週間

毎日繰り返される、呼吸のようなリズム



1 1日の流れ（3〜6歳）

2 週間スケジュール

3 いのちの当番のしかた

1日の流れ（3〜6歳）

「吸う（集中）」と「吐く（発散）」を交互に置きます

時刻	活動	内容
8:30	登園・朝の支度	自分で支度をする
8:50	いのちの当番	水と餌、ようすを見る
9:20	朝のサークル	歌・詩・季節のあいさつ
9:40	自由遊び（吐く）	ごっこ、砂、水、木登り
10:40	手仕事（吸う）	染め、こねる、編む
11:20	戸外・散歩	森・菜園・小川を歩く
12:00	昼食・片づけ	感謝のことばと配膳
13:00	午睡・静の時間	眠る、静かに過ごす
14:30	おやつ・自由遊び	手作りおやつと外遊び
15:30	帰りの集い	季節の物語とふり返り

1. 1 日と 1 週間

週間スケジュール

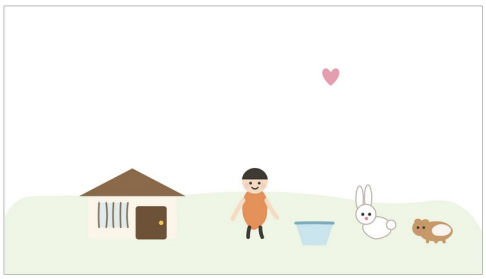
曜日ごとに手仕事と戸外活動を変えます

時間	月	火	水	木	金
8:50	当番	当番	当番	当番	当番
9:20	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
9:40	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び
10:40	水彩	手仕事	パン作り	手仕事	ぬり絵と歌
11:20	菜園	森歩き	菜園	森歩き	大掃除
13:00	午睡	午睡	午睡	午睡	午睡
14:30	外遊び	外遊び	外遊び	外遊び	外遊び
15:30	物語	物語	物語	物語	物語

朝の会＝朝のサークル。水曜のパン作りと金曜の大掃除が、１週間の節目です。

いのちの当番のしかた

3 歳から、大人といっしょに始めます



3

3 歳：見る・ついていく

大人がする世話を横で見る。水入れを持って運ぶ

4

4 歳：ひとつ任される

水を替える、干し草を入れるなど、ひとつの役割を毎日

5

5 ～ 6 歳：組で担う

2 人組で給餌・清掃・観察。年下の子に手本を見せる

約

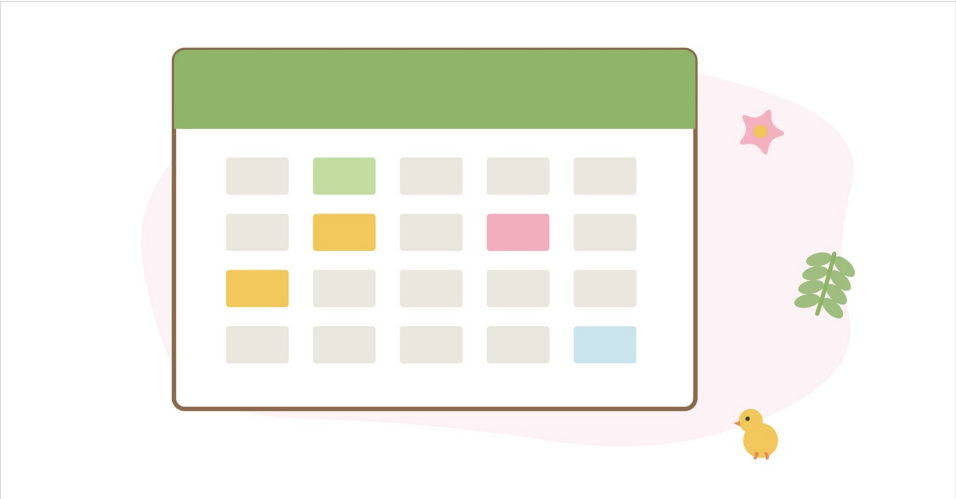
毎日の約束

手を洗う、走らない、大声を出さない、いやがったらやめる

CHAPTER 2

年間教育計画

季節に沿って、毎年くり返す 12 か月



1. 4 月〜 6 月（春）
2. 7 月〜 9 月（夏）
3. 10 月〜 12 月（秋・冬）
4. 1 月〜 3 月（冬・春）

2. 年間計画

4月〜6月（春）

出会いと芽ばえ。まず場所と人に慣れます

月	季節・行事	主な活動	いのちの学び
4	入園式・春の祭り	種まき、たんぽぽ摘み、はじめての散歩	動物と出会う。遠くから見る、においをかぐ
5	こどもの日・田植え	苗植え、こいのぼり、泥んこ遊び	赤ちゃん動物の観察。近づく練習
6	梅雨・かたつむり	雨の日の散歩、羊毛あそび、傘の絵	水を替える当番。清潔にする理由

春は「見る」から始めます。触れるのは、こわがらなくなってから。

2. 年間計画

7月〜9月（夏）

からだをいっぱい使う季節

月	季節・行事	主な活動	いのちの学び
7	七夕・夏の祭り	水遊び、泥だんご、星の物語	暑さから守る。日かげと水を用意する
8	夏季保育	虫とり、木かげの昼寝	夏休みの当番。家族と世話に来る
9	お月見・稲の実り	どんぐり拾い、月の歌、稲の観察	秋の毛がわり。ブラッシングを手伝う

夏は動物にとって過酷です。「守る」という視点を子どもと共有します。

2. 年間計画

10月〜12月（秋・冬）

実りと感謝、そして冬支度

月	季節・行事	主な活動	いのちの学び
10	収穫祭・運動会	いも掘り、落ち葉の冠、かけっこ	収穫した野菜を動物にもおすそ分け
11	動物愛護の集い	木の実の工作、焼きいも、羊毛フェルト	たまごをもらい、お礼を言う
12	冬至祭・大掃除	ろうそくの光、大掃除	冬支度。わらを足す、風よけをつくる

収穫の喜びを、動物にも分けます。もらう・あげるの往復を体験します。

2. 年間計画

1月〜3月（冬・春）

静けさのなかで、次の春を待つ

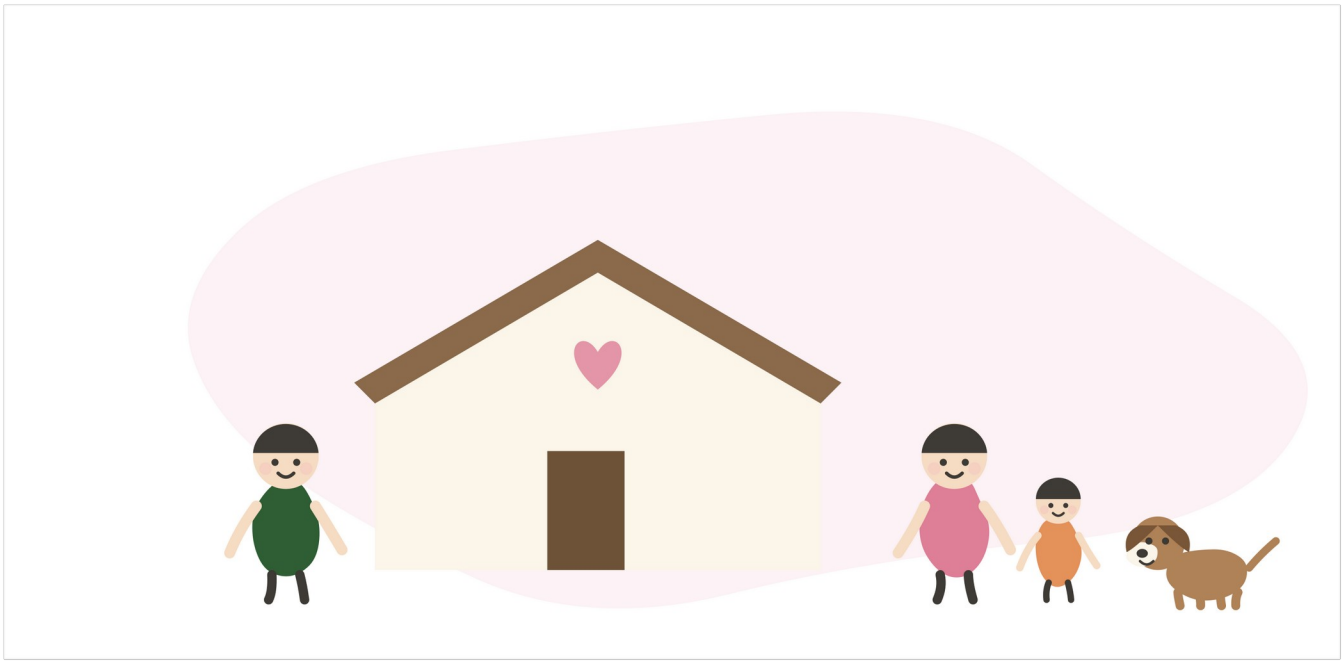
月	季節・行事	主な活動	いのちの学び
1	正月あそび・書き初め	たこあげ、こま回し	干支の動物を知る。人と動物の長いつきあい
2	節分・雪あそび	豆まき、雪の造形、氷の観察	寒さから守る。あたたかい場所を
3	むすび祭・修了式	1年の絵をかざる、お別れの歌	1年のお世話をふり返る。年長組から引き継ぐ

1年の記録を年長組が語り、次の学年へ渡します。

CHAPTER 3

5 領域とのつながり

5 領域を、遊びと動物の中で満たします



1 健康／人間関係／環境

2 言葉／表現

3 5 領域と動物の関わり一覧

5 領域の全体像

遊びと生活のなかで、 5 つがいつも同時に育ちます

健 健康

外遊び、当番、食事、睡眠

人 人間関係

異年齢の組、当番の分担、行事

環 環境

自然、季節、動植物、数量

言 言葉

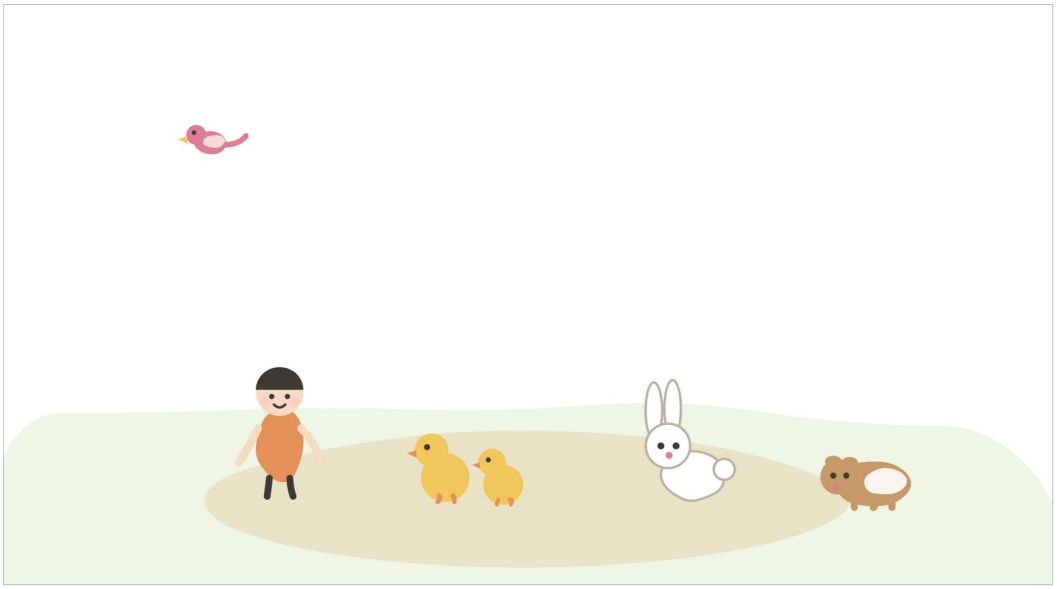
物語、詩、動物への語りかけ

表 表現

水彩、歌、劇、手仕事

命 いのち

5 領域すべてを貫く軸



3. 5 領域

健康 — からだをつくる

外

屋外で 1 日 2 時間以上

走る・登る・掘る・運ぶ。動物の世話も立派な運動です

食

食への関心

菜園の野菜、にわとりのたまご。育てたものを食べる

衛

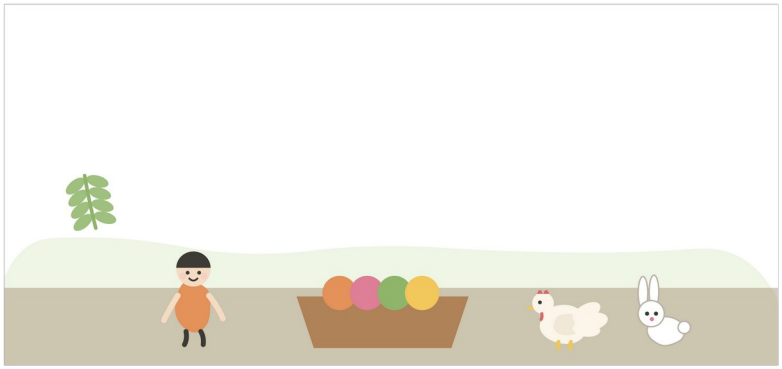
衛生の習慣

動物に触る前後の手洗い。理由もいっしょに伝えます

眠

十分な休息

午睡と静の時間。動物にも休む時間が必要だと知る



3. 5 領域

人間関係 — 人とつながる

異

異年齢のかかわり

年長が年少に手本を見せる。教えることで自分も育つ

役

役割を担う

当番は「自分がやらないと困る人（動物）がいる」経験

折

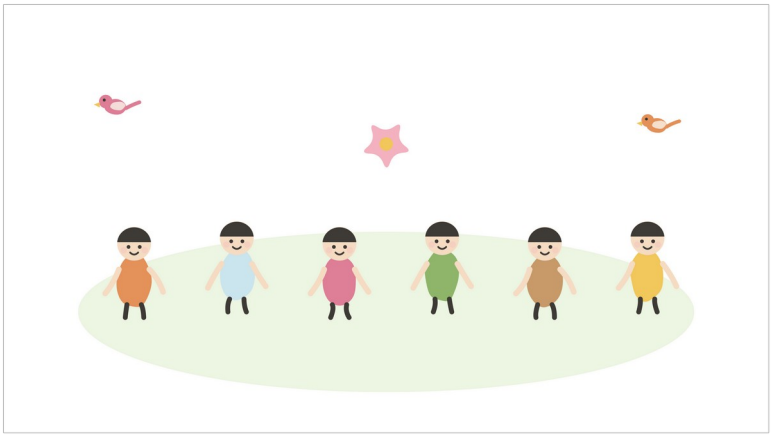
折り合いをつける

順番を待つ、ゆずる。動物にも順番と間合いがある

謝

感謝を伝える

食事、たまご、いっしょにいてくれること



3. 5 領域

環境 — 自然と数量に出会う

季

季節の変化

毎日同じ道を歩き、同じ木を見る。変化に気づく

生

生き物との出会い

飼育動物、虫、鳥、魚。生きているものは動き、食べ、眠る

数

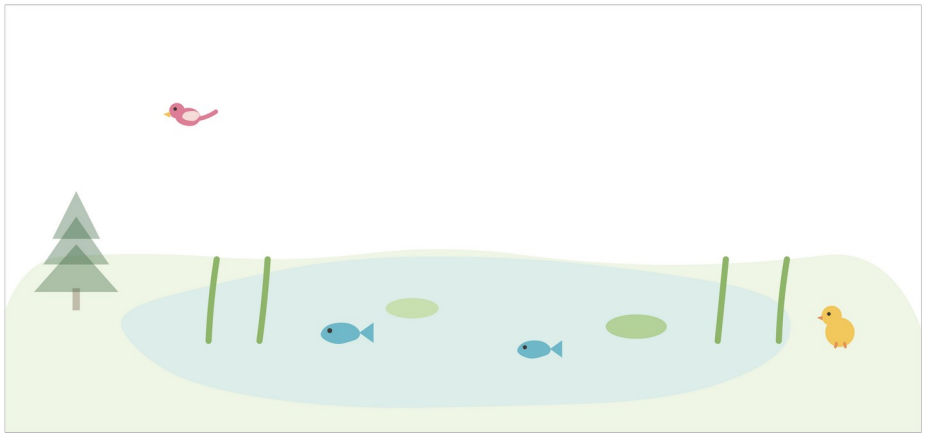
数量・図形

餌の数、当番の人数、卵の重さ。生活のなかの算数

物

物の性質

水、砂、土、木、羊毛の手ざわり



3. 5 領域

言葉 — ことばを育てる

語

語りかけ

教師が動物に話しかける姿を見せる。言葉は関係から育つ

物

物語と詩

季節の物語、動物が主人公の昔話。文字より耳から

伝

伝える

当番の報告を朝のサークルで話す。短くても自分の言葉で

聞

聞く

友だちの話、動物の鳴き声、風の音。聞く力が読む力になる



表現 — 感じたことを形に

水

にじみ絵の水彩

形をとらず、色そのものを味わう。週 1 回

手

手仕事

羊毛、染め、木、粘土。自然素材だけを使う

歌

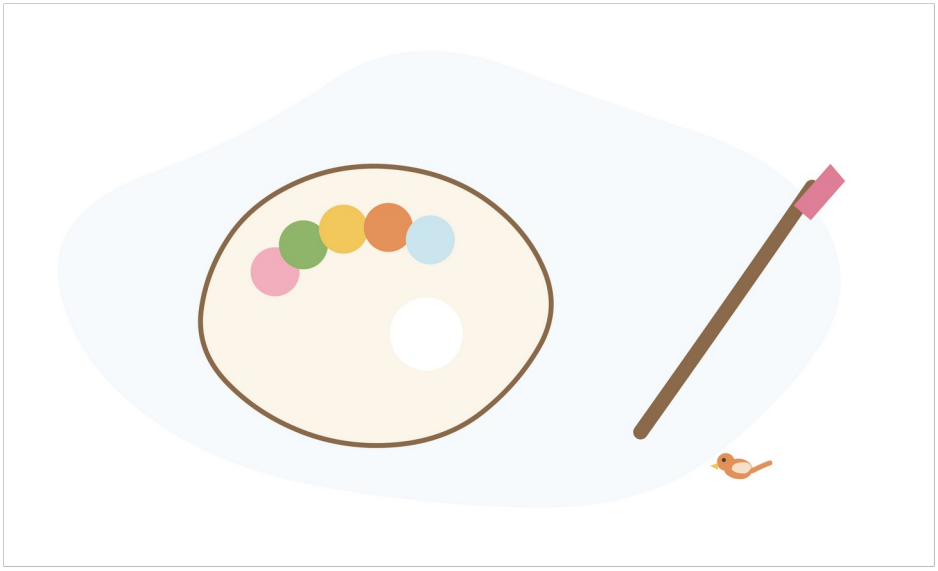
歌とわらべうた

季節の歌、動物の歌。毎日サークルで

劇

季節の劇

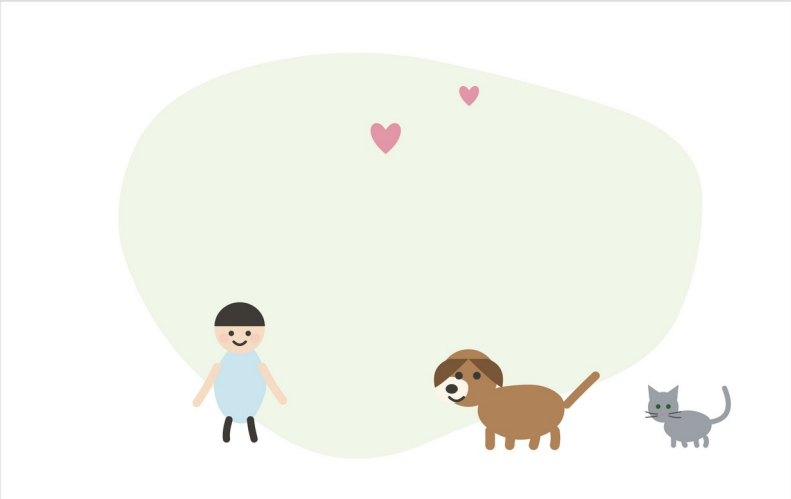
行事ごとに、物語を身体で演じる



CHAPTER 4

動物とのかかわり

触れる喜びと、距離を守る作法を同時に育てます



1 年齢別のかかわり方

2 接し方の約束

3 安全・衛生

4 いのちを見送るとき

年齢別のかかわり方

無理をさせず、少しずつ関係を深めます

年齢	できること	大人の関わり
0〜2歳	見る、指さす、声を聞く	抱っこで遠くから。触れさせない
3歳	そっと1本指で触れる	大人が手を添える。10秒で終える
4歳	餌をあげる、水を替える	毎回同じ順序で示す
5歳	床にすわって膝に乗せる	抱き上げない。逃げ道を空けておく
6歳	2人組で世話	記録カードに絵で書く

接し方の５つの約束

毎朝サークルで、子どもといっしょに声に出します

1 そっと
急に手を出さない

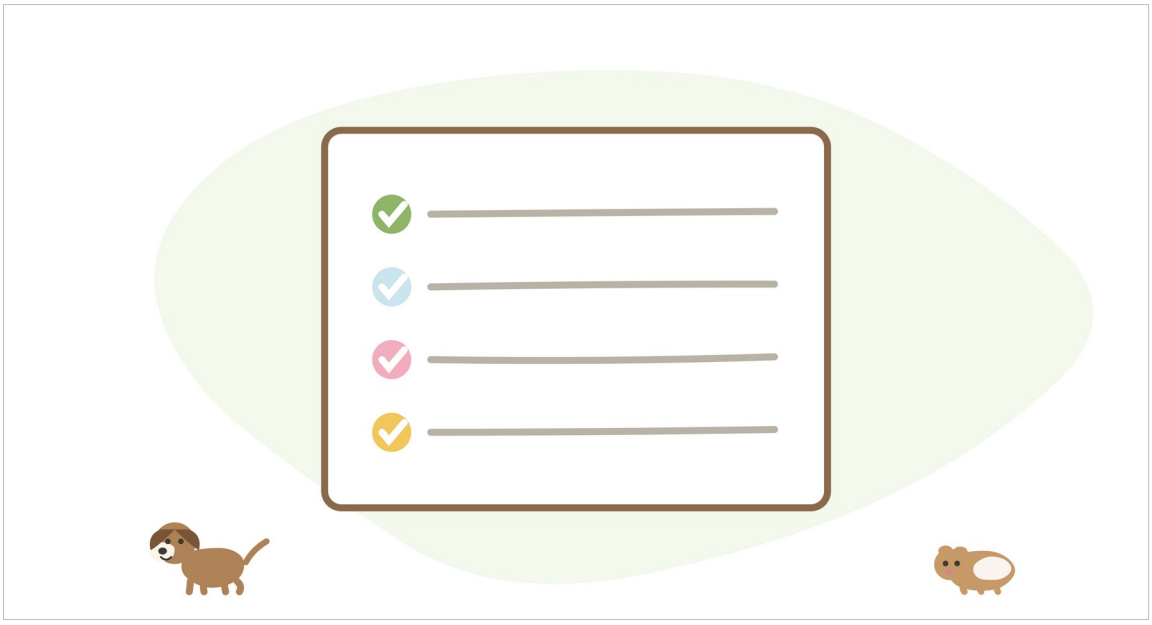
2 しずかに
大声を出さない

3 おいかけない
逃げたら追わない

4 きれいな手で
前と後で手を洗う

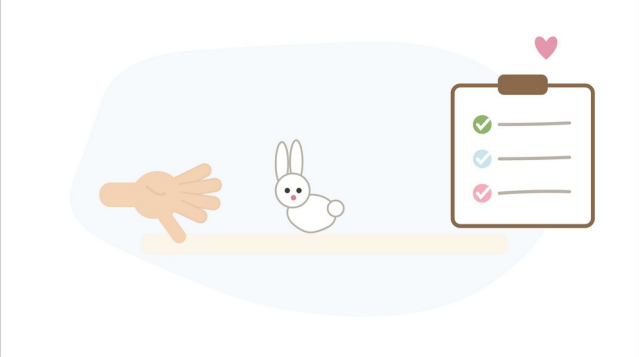
5 いやならやめる
動物も自分も

◎ 大人の役目
見守り、止める



4. 動物とのかかわり

安全・衛生の実務



手

手洗いの徹底

触れる前後。屋外手洗い場を飼育舎のとなりに設置

ア

アレルギー対応

入園時に全員調査。触れない子には別の役割を用意

傷

咬傷・引っかき

即座に洗浄・消毒・受診。原因を記録し接し方を見直す

健

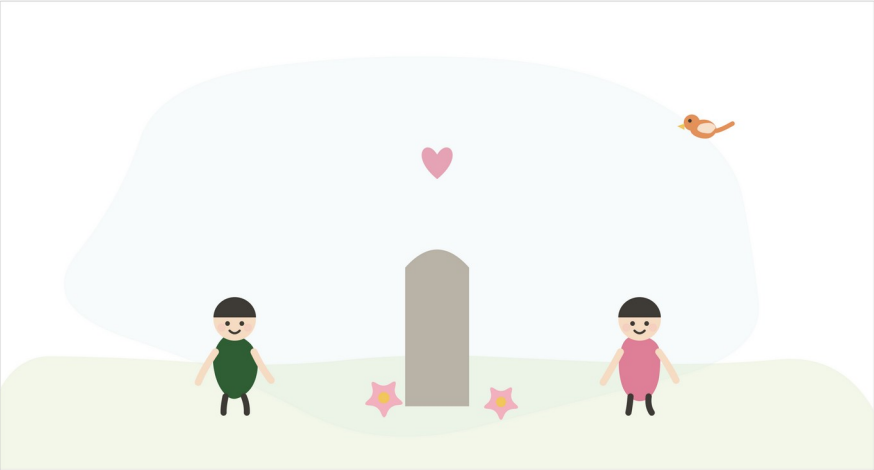
動物の健康管理

毎朝の目視チェック表。異常はその日のうちに獣医師へ

4. 動物とのかかわり

いのちを見送るとき

隠さず、急がず、子どもの言葉を待ちます



伝 事実を伝える

「死んでしまった」と正確に言う。ごまかさない

見 会う時間をつくる

見たい子は見る。こわい子は無理をしない

送 みんなで見送る

花を供え、埋め、季節ごとに手を合わせる

語 その後を見守る

しばらく話題にのぼる。何度でも聞く

CHAPTER 5

記録と就学への接続

育ちを言葉で残し、小学校期へつなぎます



1 記録と評価

2 保護者との連携

3 就学への接続

記録と評価

評価は順位づけではなく、育ちの記述です

録 エピソード記録

その日にあった小さな出来事を、教師が短く書きとめる

絵 子どもの絵と作品

月 1 点を保存し、年度末に製本する

飼 飼育の記録

絵と印で記入する当番カード。字が書けなくても残せる

語 年 2 回の育ちの物語

面談で、その子の歩みを言葉で共有



5. 記録と接続

保護者との連携

会

年 6 回のワークショップ

家庭のリズム、手仕事、スクリーンタイム、動物との暮らし

日

毎日のひとこと

送迎時に、その日の小さな出来事をひとつ伝える

参

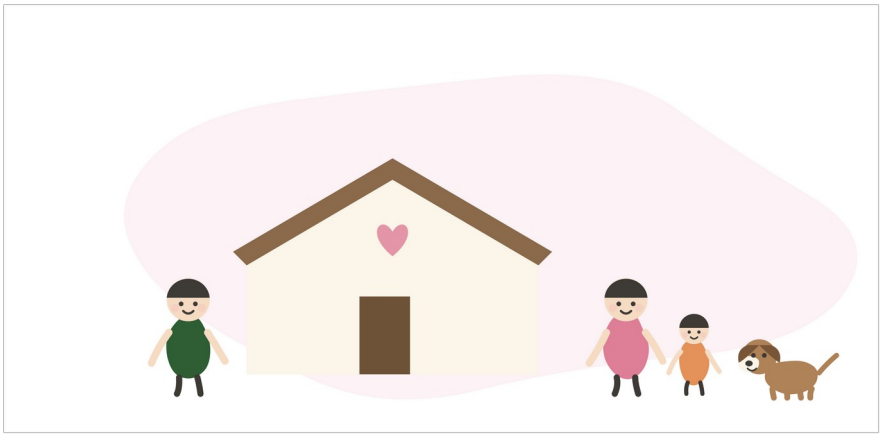
保護者の参加

菜園、修繕、行事、長期休業中の飼育当番

相

相談の窓口

アレルギー、こわがり、家庭のペットのことも相談できる



5. 記録と接続

小学校期への接続

6 歳の 1 年間を、丁寧な橋渡しの時間にします

文 文字と数への芽ばえ

教えこまず、名前・数え・形あそびで自然に出会わせる

集 集団で学ぶ準備

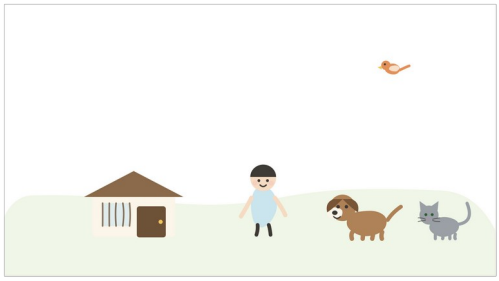
サークルで話す、順番を待つ、 45 分すわってみる練習

引 飼育の引き継ぎ

年長組が、小学校期の当番へ手順を教える会を設ける

連 教員間の引き継ぎ

育ちの物語と飼育記録を、次の担任へ直接手渡す



おわりに

根の時期に育てたいもの

急がないこと。それが、いちばん確かな早道です。

手で触れた温かさは、一生消えません。

意

強い意志

やりとげた、待てた、毎日続けた経験

感

こまやかな感覚

手ざわり、におい、音、季節の気配

信

世界への信頼

毎日同じ流れがある、という安心

情

いのちへの親しみ

こわくない、かわいい、まもりたい

